

公立置賜南陽病院看護師負担軽減計画

令和6年7月現在の看護師等の勤務状況（令和6年7月時点）
 1 看護師数 常勤33名 再任用3名 会計年度任用5名
 2 看護助手数 会計年度任用13名 派遣2名

（勤務医及び看護職員の負担軽減のための取り組み方針）
 勤務医及び看護職員の負担軽減を図るため、他職種職員との役割分担の見直しを継続するとともに、業務内容に見合った医療クラーク及び看護補助者を配置する。

項目	目標	現状・令和5年度実績	目標達成のための手順	達成項目評価		達成目標	中間評価	最終評価
				令和6年3月	令和7年3月	令和6年11月	令和7年3月	
1. 看護補助者（看護助手、介護員）の配置	当院は、A214看護補助加算1（30対1）を届け出ており、看護師の負担軽減を図る。なお、地域包括ケア入院医療管理料取得に伴い、25対1の配置。	病棟へ13名（派遣2名含む）、外来2名の配置	1、看護補助者は1名増の13名の配置。外来は2名継続 2、夜間専従介護員の配置を行う 3、日勤平日祭日に関して、早番・遅番体制を行う 4、入院セットの導入（4項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 4項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	
	超高齢化に伴い入院患者は高齢患者が多く、食事や排泄介助などの介護に関わる業務が多く日中及び夜勤看護師の業務負担軽減を図る。	日中、早番や遅番体制の継続 夜間専従毎日1名の配置						
2. 会計年度任用職員看護職員の配置	シフト体制の充実や週休・年次有給休暇の取得を促進するため、再任用・または会計年度任用看護職員を積極的かつ的確に配置し看護職員全体の負担の軽減・士気の高揚を図る	看護師3名再任用、看護師・准看護師5名 会計年度任用職員の雇用継続	1、会計年度任用職員の計画的シフトを組む 2、中途退職ゼロに向け働きかける（2項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 2項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	
3. 薬剤部との役割分担	外来・病棟における薬剤に対するアドバイスを受けることや、持参薬・処方薬の管理・調整の業務を分担することで、リスク回避を行う	疑義紹介依頼への対応、病棟における持参薬や処方箋や点滴薬剤に関する管理	1、病棟配置薬剤師が入院時、情報共有アドバイスをを行う 2、外来・入院患者の薬剤に関する疑義照会依頼への対応 3、入院患者の持参薬、処方薬時管理 4、在宅支援に向けた薬剤調整管理（4項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 4項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	
4. リハビリ職員との役割分担	入院患者が機能回復訓練室でリハビリを行う際の移動については、リハビリ職員が誘導 また、患者の機能回復、在宅に向けて看護師と情報を共有しながら自立に向けたアドバイスを行う。	申し送りや定期カンファレンスへ参加し、患者情報の共有	1、患者の送迎 2、患者カンファレンスでの情報共有及びアドバイス（2項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 2項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	
5. 臨床検査技師との役割分担	内科外来処置室において、朝の混雑時の外来患者の採血を看護師とともに行う。感染における検査報告及び指導	毎日実施、感染患者の報告を随時実施 コロナ疑い患者のPCR検査の連携 タイムリーな報告	1、内科処置室の採血や検体運搬 2、感染者のスムーズな連絡体制 3、新興感染症患者の検査対応に関して連携（3項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 3項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	
6. 栄養管理の充実	管理栄養士と病棟におけるカンファレンスや栄養面でのサポートを行う。また外来での栄養指導により情報共有を行う。	申し送りや栄養カンファレンスへの参加 患者情報の共有と食に関するアドバイス	1、外来・入院患者の栄養サポート 2、外来での患者の栄養に関わる情報共有（2項目達成で100%）	<input type="checkbox"/>	100% 2項目クリア	<input type="checkbox"/>	100%	